

フェアトレード大学 再認定

静岡文化芸術大で記念式典



再認定を受け、記念撮影に臨む関係者。浜松市中区の静岡文化芸術大

約30人が出席した。同サークルは、コーヒーの実を再活用した紅茶「カスカラティー」などをフェアトレード店やイベント会場で販売している。代表の立原春希さん(19)は「フェアトレードの考え方を学内外に広く普及させたい」と語った。

同大は2018年、アジアで初めて同認定を受けた。認定期間は3年だが、コロナ禍で更新の審査が延びていた。再認定された大学は国内初という。

浜松市中区の静岡文化芸術大(横山俊夫学長)は21日、開発途上国の生産品を適正価格で取引し、生産者の自立支援につなげるフェアトレード運動推進の「フェアトレード大学」の再認定を受け、同大で記念式典を行った。

フェアトレード推進を目指す同大サークル

「りとるあーす」のメンバーや大学関係者ら